

レースで培われた信頼性をLツインに注入!

高性能オイルで ドカをもっと楽しむ

オイルが劣化すると、エンジンは本来の性能を発揮することができない。エンジンを保護し、性能を維持するには高性能エンジンオイルが不可欠だ。

PHOTO:K.MASUDA, T.HIROSE, K.MASUKAWA
TEXT:Y.MATSUDA, DUCATI Magazine
取材協力/チームスガイレーシング・ジャパン
問合せ/トタル・ルブリカン・ジャパン TEL:03-5562-5930 <http://www.elfmoto.jp/>



走行中の
エンジンは
想像以上に
熱くなる!?

ガソリン添加剤でエンジン効率UP!

ドゥカティのエンジンを長く気持ちよく味わうために、ガソリンに添加するアイテムにも注目。クリーナーはバルブやインジェクションシステムに付着したカーボンなどの汚れを除去して摩擦抵抗を低減し、燃費など燃焼効率を向上させる。オクタンブースターは異常燃焼によるノッキングを防止し、燃焼室へのダメージを抑えてくれる。定期的に使用することでエンジンの劣化を防げる。



インジェクション
クリーナー 1188円
エンジンクリーナー
1944円
オクタンブースター
1944円

燃料経路を洗浄し、インジェクターノズルなどに付着したカーボンを除去。汚れの再付着も防いでくれる。キャブ車にも使用可能
バルブやピストンなどに付着し、フリクションの原因となるデポジットを強力に洗浄する。半年に1回使用するのが効果的だ
ガソリンのオクタン価をアップさせ、異常燃焼を防ぐ。効率的かつ完全な燃焼を実現し、エンジンの保護とパワーアップに貢献

「エルフモバイルサイト」でキャンペーン実施中!

エルフのモバイルサイトでは、抽選でオリジナルグッズが当たるプレゼントキャンペーンやエルフオイルのパフォーマンスを無料で体験できるモニターキャンペーンを実施中。締め切りが9月30日なので急げ! 通常メニューも多数用意されているのでこちらもチェック!



<http://www.elfmoto-lub.jp>

携帯電話、スマートフォンに上記アドレスを入力するか、上のQRコードを読み取ってアクセス!

オイルの信頼性と性能をレースで実感!

レースでは限界を探りながらパワーを使って加速していきますが、オイルの状態が悪くなると微妙なスロットル操作に対するレスポンスや、シフトタッチに明らかな劣化を感じます。でもエルフのオイルは過酷な状況でもそのフィーリングが変化しません。実際にレースで使っている「モト4レース」は、高回転域を使ってコーナーを立ち上がっていく時のパワーの炸裂感やレスポンス感など、レース専用オイルとほとんど変わらないフィーリング。一方、「モト4テック」は、一般的なオイルではへたってくる場面でも、エンジンフィーリングやシフトタッチが安定しています。そんな優れた耐久性を確保しているのがエルフの魅力です。

TEAM SUGAI RACING JAPAN
須貝義行さん

1966年生まれ、宮城県出身の48歳。'89年に国際A級(現国際)へ昇格、世界GPにも参戦。'03年からドカで全日本に参戦を開始。現在は1199パニガーレを駆る。'90年からエルフを使い続ける



く、低回転域で走っていても、オイルの酸化・劣化は進行している。そこでお勧めしたいのが、エルフの全化学合成油『モト4レース』と『モト4テック』。ポイントとは、ドゥカティのメーカー指定オイルの10W・40に対し、『モト4レース』10W・60、『モト4テック』10W・50という粘度的アドバンテージが与えられていること。耐熱性に余裕を持たせることで、過酷な状況下でも安定した性能を発揮し、注入した直後のパフォーマンスを持続させることができる。エルフはフランスを拠点とする世界屈指の総合エネルギー企業であるトタル社が展開するブランドで、モトGPやSBKといった最高峰レースを長年サポートし、そこで得られた技術を元に開発した信頼性の高い製品を世界中のユーザーに提供している。純正とは一味違うエルフの高性能エンジンオイルで、オイルのアップグレードを体感してもらいたい。



レースよりも、ある意味で過酷な状況になるのが街乗り。ラジエターファンが回り続けるような渋滞では、高性能オイルを選んだほうが安心できる



チームスガイではレース専用オイルだけでなく、『モト4レース』も実戦で使用。市販品でも十分にレースで通用する性能だ

エンジンのポテンシャルを引き出しつつ、しっかりと保護して愛車を長く楽しむために、エンジン内部の潤滑や冷却、洗浄などを一手に担うエンジンオイルの性能、特に耐熱性とその持続性は想像以上に重要だ。エンジン内部では、駆動力を生み出すために毎分数千回もの爆発が起こり、シリンダー内をピストンが高速で移動している。しかもドゥカティが搭載するLツインは、同排気量の多気筒エンジンに比べてピストン径が大きく(ビッグボア)、発生する熱量が高い。エンジンオイルは限界以上の高温になると、粘度が低下して油膜が切れやすくなる。さらに熱の影響による酸化・劣化により、本来の潤滑・保護性能が発揮できなくなってしまう。その結

果、エンジンのパフォーマンスが損なわれるばかりか、エンジンを傷めてしまう危険性もある。もちろん、バイクを走らせるシチュエーションによってエンジンが発する熱量は変わってくる。例えば、高速道路を気持ちよくクルージングしている時と、サーキットでタイムアタックしている時とは、使用する回転域やスロットルの開け方が違い、オイルへの負荷も異なる。だからといって、「自分は街乗りメインで高回転を使わないから大丈夫」と考えるのは早計だ。ストップ&ゴーを繰り返して、さらに路面温度が高くなる都市部で渋滞にはまっている時などは、風が当たらず冷却されないため、サーキットを走っている時よりエンジンに熱がこもりやす



MOTO4 TECH
10W-50

水冷、空冷を問わず、高性能エンジンにも余裕をもって対応するハイグレードオイル。高回転領域における安定性だけでなく、優れた低流動性により始動直後からエンジンを保護する。価格: 2700円/1ℓ、10260円/4ℓ

MOTO4 RACE
10W-60

1967年の創設以来、トップエンドレースのサポートを続けながら研究開発を積み重ねるエルフ。『モト4レース』はサーキット走行からハードなスポーツ走行に対応するレーシングスベックのオイル。価格: 3672円/1ℓ